

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年3月29日

木曾地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	17	課題区分	C			
実施機関	木曾保健福祉事務所			担当課	所属	木曾保健福祉事務所
事業名	保健福祉事務所の防災機能強化				電話	8-238-2211
				E-mail	kisocho-kenko@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	災害支援活動に必要な物品を備え、災害発生時には職員の安全を確保しつつ、迅速な派遣かつ効率的な支援活動をするため、物品の備蓄をする。				
	現状と課題	・保健福祉事務所は、災害発生時には長野県災害対策本部木曾地方部の保健福祉班として、災害時要援護者の対応に従事する。過去には避難所等に職員を派遣し、24時間体制で被災後の支援活動を実施してきた。災害派遣は自己完結が大前提であり、派遣者は、支援活動に必要な物品及び自らの衣食住に関する物品を持参する。しかし、所には派遣に必要な備蓄がないため、派遣職員がその都度自前で必要な物品を準備してきたところであるが、その装備は十分なものではなかった。また、災害により道路等が分断されれば購入すら不可能であり、2次災害の危険をはらみながらの派遣となる。そこで、職員の安全を確保し、迅速な派遣と効率的な活動をするための備蓄を行ない、防災機能の強化を図る。				
	内容 (変更後の内容)	・保健福祉班の24時間活動に必要な物品を購入し、安全で迅速かつ効率的な活動に備える。 ・所内で物品保管場所及び使用方法についての説明会を実施し、迅速な対応ができる体制を整える。				
	事業期間	平成31年2月15日		～	平成31年3月26日	
	成果目標 (成果指標)	①災害支援活動物品の購入 ②所内説明会の実施(1回)				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	災害支援活動事業	活動に必要な物品の購入	199,795			
	合 計		199,795			
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	・災害支援活動物品(ヘルメット他)を13品目55点購入した。 ・所内説明会を3月19日と26日の2回実施し、緊急対応ができる体制を整えた。参加者34人		・物品を購入と説明会を実施により、防災機能強化が図られた。 ・実際に物品を手にとることで、災害支援活動を経験したことのない職員の意識向上が図られた。		○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下	
今後の方向性	・医療救護訓練での活用及び職員向け説明会の継続実施により、災害支援活動体制を維持・向上させていく。					